



堀場製作所OB会

会報

通巻42号

発行日 平成29年7月31日

発行者 堀場製作所OB会

酒井 俊英

編集者 伊藤 哲

◆研修旅行

- ・阿蘇工場・大分方面二泊三日
- ・東京支部 群馬県富岡製糸場見学旅行記

◆東京支部報告

- ・第21定期例会

◆HOVC活動 キャリア部会

- ・生き方探求館の工房学習の後期実績

◆HOVC活動 ボランティア部会

- ・桂川流域クリーン大作戦参加報告
- ・京都マラソンボランティア活動参加報告
- ・鴨川 花の回廊ライトアップのボランティア
- ・鴨川茶店ボランティア
- ・鴨川クリーンハイク活動報告

◆OB会行事報告

- ・春の懇親会……………京都
- ・旧三井家下鴨別邸見学

◆クラブ活動報告

- ・山遊会
- ・釣りクラブ
- ・フォトクラブ

- ・ゴルフクラブ

- ・グランドゴルフクラブ
- ・ボウリングクラブ
- ・カラオケ同好会

◆会員寄稿文

- ・京都の知っているつもり……………海野興一郎
- ・悪性腫瘍(中皮腫)と診断されて—
その1/プロローグ……………村瀬 潤
- ・あこがれのクィーンエリザベス号に
乗船して……………石黒 英憲

◆OB会だより

- ・堀場OB会ホームページ紹介
- ・新入会員紹介
- ・年間行事計画について
- ・会報、ホームページへの寄稿について
- ・OB会入会手続きについて

◆上半期会社ニュース ピックアップ

◆編集後記



日本で最初の天満宮

堀川通沿いの「天神公園前」バス亭近くに、
「水天満宮」が有る。

雨水雷火の難を消除する守護神として菅公を祭る為、醍醐天皇が、菅公の師でもあった延暦寺尊意僧正に作らせた。

(西暦九二三年)日本最初の天満宮の地とのこと。洪水や大火が絶えず、菅原道真公の祟りと信じられた。境内には、鴨川が溢れて洪水になり尊意僧正が祈ったところ、水位は下がり流れが2つに分かれ、その間から石が現れ、石の上に菅原道真公の霊が現れ、天に昇られたという「登天石」が祭られている。

(酒井 俊英 記)

研修旅行

阿蘇工場・大分方面 二泊三日

2017年2月24, 25, 26日阿蘇工場・大分方面に研修旅行に行ってきました。

阿蘇工場の皆様、有難うございました。

1日目：伊丹空港→熊本空港→エステック阿蘇工場
(昼食、工場見学) → (路線バス) →
阿蘇ホテル一番館 (内牧温泉)

2日目：ホテル→(観光バス) →大観峰→鍋が滝→
由布院 (昼食) →湯布院散策→花菱ホテル

3日目：ホテル→(タクシー) →海地獄→血の池地
獄→龍巻地獄→とよ常・別府 (昼食) →
別府駅→(JRソニック) →小倉→新大阪



【STEC会議室で】



【食堂で昼食】



【がんばろう熊本を背景に】



【STEC女子会】



【工場見学】



【玄関前でSTECメンバーと】



【一日目夕食】



【二日目朝食】



【二日目出発前】



【大観峰にて】



【二日目夕食】



【三日目朝】



【海地獄】



【血の池地獄】



【三日目昼食】



【帰路】

研修旅行

東京支部群馬県富岡製糸場見学旅行記

東京支部では平成29年5月26日(金)～平成29年5月28日(土)に群馬県富岡市の世界遺産富岡製糸場見学他一泊旅行を実施しました。

参加者 草鹿、土屋、大道寺、横井、谷口、田中、玉置 (敬称略)

初日は朝から雨でしたが、富岡製糸場に到着時は参加者の運が良いのか雨も殆んどあがり気温も先日までの夏日からうって変わり23度程度ですごし易い気候になりました。製糸場見学も朝の雨の影響で見学者も少なく、充分、ガイド付説明を受け見学することができました。遅めの昼食後、国指定重要文化財の貫先神社(ぬきさきじんじゃ)に参拝し旅行の安全を祈願しました。次の目的地である県立自然史博物館では地球の生立ちを自然と生命の歩みと共にたどり恐竜の絶滅など生物の謎に迫り、進化のロマンを感じると同時に、このかけがえのない地球は水と緑に包まれた美しいさを守るため人間は今、何をしなければならないかを再確認出来ました。その後宿泊先である磯辺温泉に向かい「かんぼの宿」にて温泉に浸かり旅の疲れを癒し、夕食では皆さんの近況を語り合い楽しいひと時を過ごしました。



翌日2日目は、朝食後、東京支部の定例会を開催し、その後本日の目的地である碓氷峠鉄道文化村に向かい、平成9年に廃線となった旧信越本線の歴史にふれ、急勾配を安全に上り下りできるアプト式鉄道の仕掛けや旧信越本線時代の機関車、特急列車の運転席や客車、そして他



の多くの機関車を見学しました。昼食は横川駅の有名な釜飯を頂き、お土産を購入後今回の旅の思い出の1ページを幕とし、横川駅にて解散し各自帰路に着きました。



- ◎ 見学先
- 貫先神社(国指定重要文化財)
- 県立自然史博物館
- 碓氷峠鉄道文化村
(体験型鉄道テーマパーク)

(玉置 健三 記)

東京支部報告

第21期 定例会

第21期 第1回定例会を開催 東京支部
東京支部は21期第1回定例会議を開催しました。

日時：2017年1月20日 13:30～

場所：TSO 3F 33応接室

出席者：佐藤常務、草鹿、辻川、土屋、玉置、
谷口、龍、横井、田中 9名

【議題】

佐藤常務より会社概況について説明していただいた。吉祥院再整備、阿蘇工場の工事、札幌オフィスの移転、インドテクニカルセンター、業績等。

5月26日（金）～27日の研修会一泊旅行について、12月13日支部臨時幹事会で検討し、制作した配布資料により玉置副幹事より説明、群馬県磯部温泉・富岡製糸場他と第3回定例会開催で了承された。3月3日支部幹事会で詳細検討、3月の定例会で最終決定し、会員に参加を募る。

幹事会（10月21日）の報告を谷口幹事より行った。

堀場幹部との懇談会・見学会の9月の開催を検討した、今年も中止の方向とすることで了承された。

参加人数が少ないことによる。

玉置副幹事体調不良で辞退申し入れ、田中輝夫氏に副幹事に入ってもらい幹事3人体制で進めることで了承された。

その他

①新入会員 板垣、川野（旧姓石川）、程野（旧姓横江）の3名入会、支部会員17名 今回は検査、介護の為欠席された。

②支部会員 村木康雄さん84歳が、12月5日肺炎の為死去されたことを報告、黙とうを行いました。謹んでお悔やみ申し上げます。9日通夜、10日告別式、酒井代表幹事より生花、弔電の手配がありました。

③OB会設立20周年記念支部北海道函館旅行記を配布、補助金を支給した。思い出の残る楽しい旅行でした。辻川氏の手配、スケジュール作成、玉置氏2日目の調整、草野氏の全面的な事前調査、案内、車での協力をいただきました。

④11月8日（火）21期総会を琵琶湖工場で開催、53名出席等を報告した。

⑤1月10日本社・工場2、3、8号館解体式について報告した。

（谷口 義晴 記）

日時：2017年3月17日（金）13:00～

場所：TSO 3F 33応接室

出席者：佐藤常務、寺西、草鹿、辻川、土屋、
玉置、谷口、大道寺、龍、横井、田中 11名

【議題】

1. 研修会一泊旅行5月26日（金）～27日について玉置副幹事より資料（スケジュール及び、カラー案内図2枚）に基づいて行いました。参加者7名（8名）を予定、5月26日は上州電鉄、上州富岡駅11:00集合、タクシー2台で富岡製糸場に行き合流、11:30からのガイドをお願いし見学する。昼食後貫前神社参拝、県立自然史博物館見学後群馬県磯部温泉のかんぼの宿「磯部」へ行き宿泊する。

2日目は21期最後の会議の第3回定例会を開催、22期年間行事、予算を検討する。その後碓氷峠鉄道施設「めがね橋」と鉄道文化村を見学、昼食（峠の釜めし）後解散する予定で了承された。

また、来年度の研修会一泊旅行の希望をお聞きし、新潟、いわき地区の意見がでました。近郊地では潮来地区が残っており、今後検討していくことにした。

2. 佐藤常務より会社近況について、12月決算半導体市場が好調であったこと、2、3、8号館解体工事、土山印刷の後地の利用等の説明をいただいた。

佐藤文俊さんより6月に東京OB会に入会したいと申し入れがありました。東京支部は会員人数も少なく、ゴルフをする人も少ないので入会を歓迎した。

（谷口 義晴 記）



HOVC活動 キャリア部会

生き方探求館の工房学習の後期実績

2017/2/ 7(火)	午前	羽束師小	4年	65名
2017/2/ 7(火)	午後	羽束師小	4年	64名
2017/2/20(月)	午前	御所南小	4年	76名
2017/2/20(月)	午後	御所南小	4年	75名
2017/2/21(火)	午前	御所南小	4年	75名

作所製（組立キット）の組立指導となりました。私達モノレンジャーは、各作業机に分かれて支援に入りました。小学生は、目の前の組立キットを早く作りたくて、高阪さんの話も聞かない子供もいたりしていましたが、みんな順序良く、作業にとりかかりました。子供達にとって作業が、初めてであったりしてすこし、大変な様子の子もおられましたが、無事に完成。いよいよ、自分たちで



工房学習活動レポート

7月5日（水）「生き方探求館」モノづくり学習支援員〔京モノレンジャー〕として初めて活動してきました。今回は、平成29年度最初の活動となり、OB会より森山さん、島田さん、沢本さんと笠川、そして、堀場製作所CCOより、高阪さん、景山さんとの6名で行ってきました。

今回、学習されたのは、小栗栖宮山小学校の4年生45名の生徒で、二班に分かれての授業となりました。CCOの高阪さんが、身近な「はかる」をテーマに大変にわかりやすく、そして小学生とのコミュニケーションをとりながら説明されました。また、堀場製作所の製品、物作りも説明され、いよいよ、「世界に一つの温度計」堀場製

作った温度計に電池を接続しスイッチを入れて、LEDが点灯した時は、歓声があがり大変に嬉しい気持ちが伝わってきました。早速、自分で、作った温度計で、冷却スプレーやヘアードライヤーなどを使って、冷たい（青色）、普通（黄色）、暖かい（赤色）とLEDが点灯することを実験してみんなで動作確認していました。なかには、LEDが赤色のまま変化しないトラブルがありました。修復し、全員自分の作った温度計を持って帰られました。私自身、小学生と一緒にものづくりの活動を通して、楽しむ事ができました。今後も「モノレンジャー」として活躍したいと思っています。（笠川 重美 記）

HOVC活動 ボランティア部会

桂川流域クリーン大作戦 参加報告



【桂川クリーン大作戦|ボランティア|HOVC】

2月12日(日)の寒い中、「第10回桂川流域クリーン大作戦」に初めて参加しました。南丹市の日吉ダム下流～(園部-八木-亀岡-京都市右京区-西京区-南区-伏見区-長岡京市-大山崎-八幡市-大阪島本町)桂川、宇治川、木津川の合流地点までの桂川流域の、24個所のそれぞれの拠点に集まり、一斉清掃するボランティア活動です。
(森山 晶成 記)

京都マラソンボランティア活動参加報告



が走り抜けて無事終了。配置されたコーンや、テープ等を回収して、ほっこりした安堵の気持ちを抱いて、解散となりました。皆様お疲れ様でした。

参加者：竹内 幸雄、池田 俊明、中村 正博、森山 晶成、萩原 孝一、伊藤 哲、石黒 英憲、宇野 久二男、中村 十規人、酒井 俊英
(酒井 俊英 記)

早春の京都を駆け抜ける恒例の京都マラソン2017は2月19日に開催されました。堀場製作所OB会ボランティア活動の定番になったコース沿道整理係は、西京極・梅津ブロックの四条通15班の位置から12班に変わりました。快晴の好天に恵まれましたが、朝の松尾橋を歩くと、チラチラと小雪が降っていました。冬のピークは過ぎたものの、愛宕下ろしは冷たかったです。



8時頃には、全員揃って京都市の班長の説明の後、沿道に配置するコーンや、テープ、養生テープ、ランナーストップフラグ等を持って、配置開始。8時40分頃には配置について、スタートを待ちました。9時にスタートして、先導車が走り、車いす競技者が10台が、駆け抜けた後、しばらく間を置いて、1人のランナーが颯爽と駆け抜けていきました。2番目の走者とは、かなり離れていました。しばらくすると大きな塊が延々と続いて参加者の多いのには、毎回驚きます。いつものようにランナーが通り抜けた後、主催者の終了を知らせる車



HOVC活動 ボランティア部会

鴨川 花の回廊ライトアップ のボランティア



「鴨川花の回廊ライトアップ開催に伴う安全管理の協力依頼」と言うことで、期間4月1日～15日の内(4/1、4/7、4/15)3日を堀場製作所OB会ボランティア活動として参加しました。三条～四条大橋区間をしだれ桜、ソメイヨシノ桜を見ながら安全確認をしました。小雨の降る中でのボランティア活動を午後9時30分に終了しました。

(森山 晶成 記)

鴨川茶店ボランティア

今回4月8日(土)はあいにくの雨で、尺八や琴の演奏会、騎馬隊、吹奏楽が予定されていましたが、すべて中止となりました。特に騎馬隊は車から馬が降りずにそのまま引き返してしまいました。人も少なく閑散とした一日でした。

今年は紅しだれ桜はまだ咲いておらず、上賀茂橋付近のソメイヨシノは満開という状況でした。

(三橋 泰夫 記)



鴨川クリーンハイク活動報告

4月29日(土)「昭和の日」の休日に、五条大橋から丸太町橋までクリーンハイクが実施された。参加者は森山、笠川、萩原の3名が五条大橋西詰め鴨川五条公園に集合し、10時に鴨川を美しくする会の責任者・京都市町美化など今日は150名ほどの参加の報告がありあいさつの後、それぞれの場所で清掃活動を行った。(萩原 孝一 記) ↓



堀場製作所OB会「ボランティア部会」活動の一環として平成29年6月4日(日)に「鴨川を美しくする会」主催の平成29年度第2回「鴨川定例クリーンハイク」に参加しました。堀場OB会から参加したのは、酒井俊英、森山晶成、中村十規人の3名で、午前10時少し前に五条大橋西北詰の五条公園に集合し清掃活動を行いました。

(中村 十規人 記)

行事報告

春の懇親会開催報告



2017年春の懇親会は、4月15日（土）桜が満開のこの日、恒例のがんこ高瀬川二条苑で開催されました。総勢42名の盛会となりました。今回も大勢の皆様の元気な笑顔を見ることが出来ました。

新しくメンバーとなった会員からの挨拶もあり、和やかな懇親会となりました。終了時には午前中の雨もやんでいました。外国人団体ツアー客も二条苑に増えています。

（酒井 俊英 記）

旧三井家下鴨別邸見学 6/24

梅雨の真っ最中ですが、日ごろの心がけがよろしい様で、薄曇りの暑い一日でした。出町柳駅前に集合し、下鴨神社の南に有る、旧三井家下鴨別邸を見学しました。集合時間を1時間間違えた方を含めて34名の参加を頂き、盛況となりました。予定より見学時間が短くなったので、下鴨神社まで自由散策となり、12時に再度集合。

豪商三井家の別邸を移築したもので、昨年秋から公開されています。



その後、昼食会場の葵匠まで徒歩で移動。久しぶりに顔合わせる事が出来た方同士、楽しい昼食となりました。このお店は、味噌と漬物の専門店、全員で頂いた黒豚の朴葉焼きの味噌の美味を堪能する事ができ、Good Choice でした。大勢の御参加を頂き、幹事一同、大喜びです。ありがとうございました。（酒井 俊英 記）



クラブ活動報告

山遊会



<第49回> 例会山行

年月日 平成29年4月14日(金) 晴

山行先 賤ガ岳 (421.1m)

参加者 下川和子・高橋義治・下川博司・
倉原政治・丸山 博・
宇野久二男・加藤順三

午前7時45分JR京都駅に集合、近江塩津行きに乗り込む。9時28分余呉駅で下車。好天に恵まれ、11時45分賤ガ岳頂上に到着、恒例の記念写真を撮る。余呉川沿いの桜並木を見ながらJR木ノ本駅まで歩き、14時14分彦姫路行きに乗り、15時42分京都駅で散会した。(要旨)

釣りクラブ



2017年5月4日、下川、中村、調子の3名は東舞鶴港から沖合の冠島周辺での釣りを遊漁船「いおり」をチャーターして行ないました。ゴールデンウィーク中ということで懸念された交通渋滞もなく、快晴の空の下色鮮やかな新緑の中を快調に港に到着。出港してしばらくするとなんと赤潮が大量発生。釣果に影響するのではと心配しましたが、水深70m地点で各々チダイ、ガシラ、キジハタ等の釣果を楽しみました。五月晴れの空の下、釣行を終えた3人の顔はこんがり色付いていました。(調子 均 記)



7月1日(土)に今年2回目の釣りクラブメンバーでの釣行を行いました。今回の参加者は、下川、中村、村田、調子の4名です。14時に東舞鶴港から出船し、沖合い約30kmにある冠島周辺で鰯、イカを主なターゲットとしました。(調子 均 記)

フォトクラブ

カメラクラブから名称を変更したフォトクラブがやっと活動を開始しました。

(撮影会の報告)

フォトクラブの第一回撮影会を4月3日(月)に宇治駅周辺で行いました。残念ながら、桜は少し早く3分咲き程度でしたが、メンバーはカメラ片手に

宇治の風景や桜をはじめとし丁度咲いている花木そして寺社などを被写体に各々の構図でカメラに収めていました。また、お昼には美味しくリーズナブルな中華料理を食べながらカメラ談義もさることながら、どちらかという健康、医療談義をメインに会話が弾んでいました。天候に大変恵まれた楽しい時間を過ごすことができました。

(中村 十規人 記)

クラブ活動報告

ゴルフクラブ



平成29年5月19日(金)第6回堀場OB会ゴルフコンペを、クラウンヒルズ京都ゴルフクラブで開催いたしました。当日は雲一つない快晴で、文字通りの五月晴れ(気温は地球温暖化の影響か例年より高め)でした。スタート前には恒例の白かゴールドかと勝負を意識されている状況も見られましたが、堀場OBは元気ですので75歳以上の方に敬意を持ってゴールドということになりました。多くのご参加を頂き14名の4組となり、スタートの時は旧交を深たり、鹿が見送ってくれ

るなどリラックスしてプレーが始まりました。午後からは気温が高かったせいかスコアを崩された方もありましたが体調を崩すとか、怪我をされた方もなく楽しい1日を過ごせました。今回、賞品はニアピン各ホール、ドラゴン2ホール、優勝、準優勝、3位、4位、5位、7位、10位、BB、BM、参加賞と美味しい賞品が沢山ありました。(峰野様からは賞品提供と内山様からは全員へ当地のお土産を頂きました。ありがとうございました。)準備した賞は全て対象者があり、日頃の腕前が発揮できたのでは?と思います。今回優勝されたのは毛利隆文さんでした。(NET72.4)おめでとうございます。

準優勝：永井博 3位：内山正克
4位：宇野久二男 5位：大西敏和
なお、ゴルフクラブの名称を次回から堀場OBGCにすることが決まりました。
参加者：宇野久二男、内山正克、大西敏和、加藤千鶴子、桐野茂、鈴鹿周正、永井博、長澤克己、中村勝美、中村まり子、峰野幸弘、毛利隆文、三好則夫、山田毅 (山田毅記)

グランドゴルフクラブ



平成25年11月より1年6ヶ月ぶりの開催です。今回は本社南側宮森公園グランドで幹事会(HOVC部会)の合同部会の終了間際の練習になりました。宮森公園グランドは梶並さんが地域の活動で参加されているのを期に梶並さんの提案で宮森公園グランドに入会しました事がスタートです。通常8コースを4コースを設定し梶並さんの指導により練習を始めました。練習中はゴルフ経験者が多くて最初は戸惑いながらも直ぐにグランド・ゴルフに慣れて短時間でしたが楽しくプレーしました。

参加者：酒井、中村十規人、秋山、石黒、三橋、梶並、森山(敬称略)計7名
今後の会場運営について
宮森公園グランドでグランド・ゴルフ
本社南側公園宮森グランド・ゴルフ(8ホール)
練習 月2回 第1、第3週
午後13時頃 月、水、金で予約済です。
開催時 森山よりメール、電話で連絡
公園 登録者 梶並強平さん
(森山 晶成 記)



クラブ活動報告

ボウリングクラブ



ボウリング5月例会の結果は次の通りです。最高齢山田昌美さんが好スコアで2月以来の2勝目の優勝です。マイボールが馴染んできて、往年の雄姿復活です。3ゲーム目には40年ぶりに200アップも達成です。2位には224のハイゲームの永田真寿夫さん、アベも200アップです。BBは1

点差で鳥島さん、毛利は最下位に沈みました。

ボウリング6月例会の結果は次の通りです。鳥島さんは前回よりアベ20点アップ、ぶっちぎりで通算6回目の優勝です。田中光子さんは前は足のケガで欠場でしたが、元気に復活です。今回はレーンコンディションが難しく全般的に低調でした。写真は優勝を決めた鳥島選手の一投です。

(毛利 隆文記)



カラオケ同好会

2017年12月24日(土)第6回カラオケ同好会を開催致しました。同年2月初回より6回目の開催となり、お蔭様で参加者も定着しメンバーも増えてきました。その日は、クリスマスイブの日でもあり、参加者が少ないのではと心配して

の石黒さん、九州演歌の森山さん、センスの良い大川さん、吉幾三「酒よ」の逆バージョンの高田さん。イブの日でもあり、全員仮装し、美味しいママの手料理を食べながら3時間歌いまくりで、最後は、全員起立し会のテーマ曲「青春時代」を合唱して散会となりました。



いに盛り上がりました。レパトリーNo.1サザンオールスターズからAKB48の吉井さん、サブちゃんを歌えば堀場No1.の小山さん、レギュラー参加で歌大好きの中村(正)さん、音程バグンで美声の分部さん(旧:浮村)、西郷輝彦世代の歌得意



5回目には、土肥さん、京都市市会議員の森かれんさん、堀場顧問の松本さんも参加して頂きました。今年に入り、2月、4月と開催致しました。4月には、森かれんさんが、ご結婚されることになり全員で「おめでとうの歌」を合唱し祝福致しました。OB会の皆様、偶数月の第4土曜に開催しておりますので、参加お待ちしております。

(小川 柁幸 記)

「南座、河原町、木屋町、先斗町は鴨川の河原だった」と聞いた殆どの人は「え、河原？」と疑問に思う。それは昭和10年の鴨川大洪水で、翌昭和11年から22年まで、川底を2m掘り下げる改修工事が行われ、水位が低くなったからである。その時、高瀬川の河川水を鴨川から直接、現：がんこ二条苑に取込んでいたのを、1.4km上流の東一条通付近の暗渠へ取込み、鴨川西岸の冷泉通付近から設けた水路「みそそぎ川」を経て、現：がんこ二条苑に取込むようにしたのである。ここで、鴨川の河原を知るべく、鴨川周辺の歴史を調べてみた。



鴨川の暗渠への取込み口

まず平安京の碁盤の目の東端は、東京極大路である。今の通り名で言うと、木屋町通でもなければ河原町通でもない寺町通である。なぜ鴨川から西400mも離れた通りなのか。恐らく、幾度もの洪水で鴨川の河道が蛇行・分岐し、寺町通以東は草木が生茂る河原で、未開の湿地帯だったからであろう。

次に鴨川以東の古刹は、全て大和大路通以東にある。建仁寺、方広寺、三十三間堂の各西端は、大和大路通に接している。これは、大和大路通以西が鴨川の河原だったからではないか。特に三条通と四条通間が、堤を意味する「繩手」から、繩手通と呼ばれたことから、大和大路通は鴨川の東の堤と判断する。

秀吉が関白になると、1591年外敵や鴨川の氾濫水の侵入を防ぐため、中心部を土塁で囲む御土居を建設した。その東のラインは、河原町通より少し西だが、まだ河原町通は無く、付近は草木が生茂る河原だったと思われる。

家康の世になると、1610年角倉了以は、幕府の要請で、方広寺大仏殿再建の資材を鴨川の水運で運んだが、洪水の度に修復が必要と直感し、河原に新たな運河開削の許可を幕府に願い出た。それが1614年完成の高瀬川である。工事の最中、荒廃

した秀次の石塔を発見し、その菩提を弔うため、1611年その場所に寺を建立した。それが「木屋町三条下ル」にある瑞泉寺である。高瀬川が完成すると、物流が飛躍的に向上し、伏見港から大坂や地元の米、酒、醤油、塩、海産物、材木、薪炭などが運ばれ、木屋町通ができ、周辺には倉庫、問屋が立ち並び、物資の集積地として発展した。丁度その頃に、河原町通が造られたようである。

元和年間(1615~1623年)京都所司代：板倉勝重は、四条河原に七つの芝居小屋の営業を許可したが、幾度かの火事で次々に廃座。明治になると、四条通両向いの北座と南座だけになった。さらに、明治26年四条通拡張に伴い北座も廃座になり、残ったのが南座である。決して今の場所に移築したものではない。

1670年老中：板倉内膳正が「寛文新提」を施工したが、石垣や蛇籠(じゃかご)による護岸工事であった。その時、宅地が造成され、南北の通りも造られ「新河原町通」と呼んでいたが、高瀬舟の船頭や旅客目当てに、旅籠が茶立女を置き始め、やがて花街となると、その通りを「先斗町通」と呼ぶようになったのである。



「みそそぎ川のがんこ二条苑取込み口」

このように秀吉が御土居を建設した頃、鴨川の川幅〔御土居(河原町通西)から大和大路通〕は350mもあったが、明治時代に琵琶湖疎水の鴨川運河設置もあって、現在では三条大橋付近で74mに狭まり、河原であった場所は繁華街になったのである。現に秀次の一族と側室、計39名が処刑埋められた三条河原が、瑞泉寺その場所であり、石田三成が晒し首にされた三条河原が、三条大橋西詰の三条通北側と言われている。ところが、京都紹介本に「アバックが等間隔に座る鴨川の河原は昔不吉な場所」とある。これは「鴨川の昔の河原を余りにも知らなさ過ぎでは」と、ふと思うのである。

☆変化の予兆

昨年（2016年）11月18日、悪性腫瘍の中皮腫疑いとの診断を受けました。主治医さんから「アスベストを扱う仕事をしていましたか？」との質問に、忘れていた恐れを思い出しました。10年ほど前の事です。夕刊を読んでいると、1面のトップに『奈良県にてアスベスト禍！』の見出し。本文を読むと、私が大学卒業まで住んでいた奈良県王寺町の日本アスベスト工業・王寺工場周辺で、アスベストを吸引した事に依ると判断される症例が多発している。更に隣町の斑鳩町竜田に在った子会社の竜田工業の周辺でも多発しているとの記事でした。私が住んでいた家は、アスベストの工場から国鉄・関西本線と信貴生駒電鉄の線路を越えた場所でした。小学生の頃は、工場のゴミ捨て場が近所の子供の遊び場です。ゴミ（廃棄物）を掘り返して、瓦を小さくした様な形のアスベスト製品を探して遊び道具にしていました。記事を読んで、いつかは私も発病する可能性が在ると思いを巡らしました。



☆泳ぐと息が切れる

しかし、診断が出たときは日常生活に支障は無く、持病の椎間板ヘルニアのぎっくり腰の予防の為の水泳で息が切れるだけでした。そもそも今回の診断に至った切っ掛けは、春頃から下痢気味になり、63kgの体重が60kg前後に減って身体が重く

感じる様になった事です。尚、私の体脂肪率は13%で、普段の体重変化は±0.5kg程度です。近所の内科医を7月に受診しました。先ず下痢止め薬を処方してもらい、下痢は多少改善しましたが、体重は戻りません。9月になって、泳ぐとやたらと息が切れる様になりました。9月末に腹部のエコー検査をする事になり、腹でなく右肺に水が溜まっている事が判明しました。

☆「この病は治りません」

直ぐに桂病院への紹介状を戴き、呼吸器内科を受診しました。胸部X線CT、頭部MRI、胸部PET-CTなどの検査で、右肺に腫瘍が有ることが分かりました。腫瘍から水分が染み出し、空気を吸い込む肺胞と胸を取り囲む中皮という膜との間に溜まっていて、水の量だけ肺胞が膨らまない分肺活量が減って、息切れした訳です。ここまでの検査では病名の特定に至りませんでした。抜いた水に含まれていた細胞の染色組織検査の結果から『中皮腫疑い』との診断に至りました。進行レベルは、4段階のレベル3との事。主治医さんから「この病は治りません」との宣告。吸い込んだアスベストが無くならないので、完治が無い訳です。ネットで調べると、5年後の生存率は10%以下。治療方法として、外科手術は、右肺を全て取り除く大きな難しい手術になり桂病院では出来ないとの事。患者の負担も大きく、感染症の危険もあり、手術での延命率アップも期待できない様です。残る治療方法は、放射線照射と抗ガン剤投与ですが、腫瘍は既に右肺全体に拡がっていて放射線照射をすると肺や心臓がダメージを受けるので出来ないとの事。結局、抗ガン剤投与しか治療方法は残りません。直ぐに始める事を希望すると、確定診断をしないと始められないとの事。入院して部分麻酔で右わきの下に穴を開け、内視鏡にて組織片を切り取り、染色して細胞の組織検査をする事になりました。が、検査に必要な大きさが切り取れず、呼吸器外科に転科して全身麻酔での手術でようやく診断に必要な大きさの組織片を切り取れました。一旦退院し、12月7日に外来で診断結果を聞きました。『中皮腫』と確定診断に至りました。

ここまでが、中皮腫を患ってのプロローグになります。誰でも体験することではないので病気の事や気付いた事、その他諸々の事を書いてみました。以上



H27年5月にダイヤモンドプリンセス号で初めて客船の旅を経験しました。すると、次にはぜひとも有名なクイーンエリザベス号での船旅を経験してみたいとおもうようになりました。

そのクイーンエリザベス号が、ある日突然、開港150周年を記念して神戸港にやってくることを知りました。それも世界一周の旅の途中に神戸港に寄港するのです。そのうえ、1週間後に再度神戸港に戻ってくるのです。そこですぐに、申し込みましたが、当然キャンセル待ちの状態、ホコムのお蔭により、部屋を確保することができました。

3月13日夜8時に神戸港を出港するのですが、お昼に神戸港に着くともう大変な混雑です。クイーンエリザベス号を見ようと、見物客であふれていました。乗船前に写真を撮っていると、「切符が取れたのですか？よく取れましたね」と、話かけられ、その人気の高さにびっくりしました。



船内の調度品、飾りつけには非常に格式のある立派なものが使われていました。船内では記念写真の撮りがいがありました。食事は指定レストランか、いつでも食べることのできるピツフェで、プレミアムレストランは、すべて予約が一杯で申し込む事もできませんでした。

この船の特徴は、ダンスフロアーが広く、ダンスホストがいるということがあります。それ以外に楽しめるイベントが少なかったように思います。しかし、各寄港地での歓迎イベントは素晴らしいものでした。出発地の神戸港では、神戸市長やミスXXと言った女性は何人も乗船して、歓迎式典やショーを繰り広げていました。その他の寄港地でも、地元の踊り、演奏などでの歓迎がありました。また見物客の見送りの大声援で送ってくれる非常に心のこもったものでした。やはり、船の知名度の違いでしょうか？



鹿児島、釜山（慶州）、広島、高知と寄港地ではバスで観光に出かけるのですが、やはり船内でのイベントが楽しみでした。パーティでも、「マダム・バタフライボール」とか「セント・パトリック・デイ」といったテーマで、少しおしゃれを取り入れた服装（正装）で参加するようになっていました。ショーを見たりゲームをしたりと、色々楽しめるようになっていました。

クイーンエリザベス号は、ダイヤモンドプリンセス号よりも一回り小さく、9万トンで、乗客は2,000人程度です。神戸港からの乗船は約800名と少なく、内600余名が日本人でしたので、船内では日本人が3分の1程度でした。4か月の船旅を楽しむ人たちも多くいた中で、我々は8日間の船旅でしたが、豪華なムードの一端を少し味わえた気がします。良き経験ができたことに感謝しております。以上

OB会だより

－ 堀場OB会ホームページ紹介 －

堀場OB会のホームページは総会、幹事会、キャリア活動、クラブ活動をはじめ各種の行事案内、活動報告を掲載しています。より魅力あるホームページにするために会員からのご意見、ご提案をお寄せ下さい。

検索エンジンから「堀場OB」で検索し、「お気に入り」に追加ください。

<http://horiba-ob.com>



－ OB会室移転 －

2017年1月から22号館1階に移転しました。



－ 新入会員紹介 －

新入会された会員を紹介します。（敬称略）

第21期

酒井 寛、渡邊 研一、大江 規夫、佐藤 文俊、菅田 敬二、沢本 昌順

－ 訃 報 －

西小路 康孝様、小谷 晴夫様、村木 康雄様、中野 穰祐様がご逝去されました。
謹んでお悔やみ申し上げます。

－ 年間行事計画について －

年間OB会行事についてはホームページに「年間行事予定表」を公開していますが、会員の皆様に参加いただく行事を紹介します。

- 鴨川を美しくする会
 - ・ 鴨川クリーンハイク（年間5～6回の予定）
 - ・ 鴨川茶店（4月予定）
 - ・ 鴨川納涼（8月予定）
- 工房学習支援（年間：7～8回の予定）
- 研修旅行（2月予定）
- 春の懇親会（4月予定）

- 懇親会（9月16日予定）
 - ブルーベリー摘み体験（8月2回予定）
 - レジャー例会（4月、6月、11月の予定）
- 開催日が決定した行事についてはホームページまたはメールにて紹介させていただきますので参加いただくようお願い致します。
行事内容の詳細は、代表幹事・幹事にお問合せ下さい。

◆代表幹事 酒井 俊英

E-Mail : sakai727@yahoo.co.jp

TEL 090-5965-0389

－ 会報・ホームページへの寄稿要領について －

会報への寄稿文、ホームページへのクラブ動、ボランティア活動等の諸活動報告をされる場合に長文では取扱いに苦慮する場合があります。

このため、文字数の上限を下記の通り取決めさせていただきますので協力いただくよう宜しくお願い致します。

◆会報へ寄稿文

1500文字以内

(写真を1枚～2枚添付して下さい)

◆ホームページへの活動報告

800文字以内

(写真を1枚～2枚添付して下さい)

会報、ホームページ共に文字だけでは読者に伝える力が弱く、写真によって情景を読者に印象付けるものであり、必ず写真を添付いただくようお願い致します。

活動報告は行事終了後、直ちに報告いただくようお願いいたします。

◆寄稿文の募集

会報に掲載する寄稿文を募集しています。

■OB会入会手続きの手順

- ①「入会登録書」「入会のお誘い」をダウンロードする。
- ②「入会登録書」に必要事項を記入し、メール添付または郵送にてOB会幹事に提出する。
- ③幹事会審査の後、入会金、年会費納入の振込用紙、OB会資料を入会希望者宛に送付する。
- ④入会希望者は振込用紙にて郵便局より振込。
(手続き完了)

【OB会員の皆様へ】

皆様の周辺で、未加入の退職者がおられましたら、入会の勧誘をぜひお願いします。
堀場OBホームページトップページの「OB会入

テーマは特に決めていません。

＜旅行の感想＞、＜地域での活動＞、＜地域の名所・旧跡の紹介＞、＜地域の祭り＞など身近なテーマを気軽に寄稿いただきますようお願い致します。

投稿者にはささやかながら「図書カード」

(1,000円分)を進呈させていただきます。

会報は毎年1月と7月に発行しますので12月末、6月末を目途に提出いただくようお願いいたします。

◆著作権について

- ・書籍から引用の時は出典を明記して下さい。
(発行元、書籍名、著者)
- ・新聞からの文面、写真の引用は新聞社の承認を必ず得て下さい。

◆送付先

会報事務局編集責任者 伊藤 哲

メールアドレス horiba.ob@gmail.com

〒601-8510京都市南区吉祥院宮の東町2

堀場製作所OB会 会報事務局宛

会手続き」のアイコンから入会申込書をダウンロードし、「入会のお誘い」に記載されている手順で手続きを行うよう積極的に案内をお願い致します。解らない場合には、代表幹事・幹事にお問い合わせ下さい。

代表幹事 酒井 俊英

副代表幹事 船越 健

幹事 森山 晶成

中村 十規人

小川 柁幸

東京支部幹事 谷口 義晴

会計幹事 伊藤 哲

会計監査 湯浅 一郎

上半期会社ニュースピックアップ

「堀場社長が春の園遊会にご出席されました」

4月20日、東京・元赤坂の赤坂御苑で催された春の園遊会に、堀場社長が出席されました。園遊会は例年、春と秋に開催され、中央官庁が分野ごとに推薦した功労者のほか、国会議員や官僚、自治体関係者らとその配偶者を招待するものです。堀場社長は科学技術関係の功労者として招待を受け、ご出席されました。



「ホリバ・コリア社の新社屋 起工式が行われました」

5月17日、ホリバ・コリア社（HKL／韓国）の新社屋（2018年7月 完成予定）の着工に際し、建築安全祈願起工式を執り行いました。HKLは今年創業40周年、来年には創立30周年を迎えます。この記念すべき年に、韓国の光明（カンミョン）という土地に、新社屋を建設します。ホリさん、コイシさ

ん、イシさんをはじめ、総勢150名がご参加のもと、建築安全祈願起工式が、華やかに執り行われました。HKLでは、117名のホリバリアンが、韓国国内4つの拠点で働いています。新社屋が建築される光明は、ソウル市近郊にある3拠点のほぼ中心に位置し、主要なおお客様である三星電子様、現代自動車様からも近い素晴らしい立地です。



「堀場エステック・コリア社の新研究開発拠点稼働」

堀場エステック・コリア社（SKL／韓国）の新社屋に拠点を移し、4月1日より本稼働を開始しました。これに伴い、5月17日にオープニングセレモニーが執り行われました。韓国の龍仁（ヨンイン）市に、SKLの新拠点が完成し、4月に旧社屋から移転、本稼働しました。5月17日には、ホリさん、コイシさん、イシさんご出席のもと、オープニングセレモニーを執り行いました。来賓の方々も合わせて総勢113名が参列し、華やかなセレモニーとなりました。



編集後記

前41号の「京都の知っているつもり」の写真キャプションで「右近の橘、左近の桜」の表示が誤っておりました。お詫びして訂正いたします。今回から、写真掲載を多用して、ホームページとの重複をさげ文章を少なくしています。ご了承ください

ださい。九州北部では、大雨と洪水に見舞われました。被災された方々にお見舞い申し上げます。京都は祇園祭も終わり、本格的に夏を迎えます。体調を崩されないようくれぐれもご自愛ください。
(編集担当)

* 堀場製作所OB会 *
* 〒601-8510 *
* 京都市南区吉祥院宮の東町2番地 *
* 株式会社 堀場製作所内 OB会室 *
* URL <http://horiba-ob.com> *
